および、後攻チームが４回を終了していないが、攻撃中に先攻チームの得点より多くなったとき。

	一	二	三	四	五	六	七	計
A	0	2	1	0				3
B	0	1	0	3×				4

４回裏の攻撃が終了していない場合でも、先攻するチームの得点より多くなったとき。

(4) 試合に、「時間制限」および「回数制限」の特別規定を設けた場合の処置については次のようにする。

a) 制限時間を経過した時点に行われているイニングが終了するまでは継続する。ただし、そのイニングの表終了のとき、後攻チームの得点が先攻チームの得点をリードしている場合は、そのイニングの裏は行わなくてよい。また、そのイニングの裏に後攻チームが先攻チームを上回る得点をしたときは、そこで試合を終了する。

b) 回数制限を併用している場合は、制限時間を経過していなくても、そのイニングまでで試合を終了する。また、制限回数に達していなくても、制限時間を経過した場合は、そのイニングで試合を終了する。

c) 時間規定を設けていて同点の場合、７回を終了していなくてもタイブレーカーによって試合を継続する場合がある。

4. タイブレーカー

両チーム７回の攻守を終了しても同点の場合は、無死ランナー満塁を設定して、８回の表から攻撃を継続する。一塁ランナーは前のイニングの最終キッカー、二塁ランナーはその前、三塁ランナーはその前のキック順のプレイヤーとする。（ランナーについては、審判員が指導してよい。）

キッカーは前回から引き続く正位キッカー（正しいキック順のキッカー）とする。キッカー、ランナーとも正しい控え選手と交

代することができる。

5. 試合の開始と終了

試合は、球審による「プレイボール」の宣言で競技を始め、同じく「ゲーム」の宣言で競技を終わる。「プレイボール」宣言後の競技開始または、ボールデッド（競技停止球）後の競技開始は、すべて球審による「プレイ」の宣言により行われる。また、競技中断のための「タイム」の宣言は、どの審判員もできる。

6. 没収試合

つぎの場合、球審は没収試合を宣告し７対０で過失のないチームの勝ちとする。

(1) 試合開始時間に到着しないとき、または試合を拒否したとき。

(2) 球審が“プレイ”を宣告しても、試合に参加しないとき。また、チームが明らかに試合の引き延ばしと見られる行為をしたときも、これに含まれる。（審判の判断）

(3) 審判員の警告を無視し、故意に反則を重ねたとき。ただし、ファウルキックの場合を除く。

(4) 競技者が 10 名より少なくなったとき。ただし、後攻チームが４回攻撃中、先攻チームの得点を超過しているときを除く。

(5) 無資格選手が試合に出場し、投手が投球動作に入ったとき。

(6) チームのプレイヤー・監督・コーチ・関係者から、審判員が暴言や暴行を受けたとき。

注) 没収試合の決定は、大会役員・審判長・および当該審判員が協議して、球審が宣告する。

7. 無効試合（ノーゲーム）

つぎの場合は無効試合となる。

４回の攻守が完全に終了する前に、日没・降雨その他の事情により審判員が試合を打ち切ったとき。ただし、後攻チームが４回

裏の攻撃中、先攻チームの得点より多くなっているときを除く。

注) 3．正式試合(4)の規定がある場合はその規定によって試合が成立する場合がある。

第5章　得　点

1. **ランナーがそのイニングの第3アウトになる前に、正しく一塁・二塁・三塁・本塁の順に触れたとき、1点が記録される。**

2. **つぎの場合は第3アウトが成立する前に、ランナーが本塁に触れても得点とならない。**

(1) キッカーランナーが一塁に達する前に、第3アウトが宣告されたとき。

(2) ランナーのフォースアウトが、第3アウトになったとき。

(3) 先行するランナーが、そのイニングの第3アウトになったとき。

a) 塁の空過が、アピールにより認められたとき。

b) ランナーが塁間で、前のランナーを追い越したとき。

(4) 第3アウトが、アピールにより有利な第4アウトと置き換えられたとき。

（例）

2アウトランナー一・二塁で、キッカーがヒットを蹴り、二塁走者はホームイン。一塁走者は三塁手前でタッチアウトになり第3アウトとなる。第3アウト前に走者のホームインが早く得点が認められた。その後、キッカーが一塁ベースを空過したアピールが認められ、第4アウトとなる。審判は第3アウトを有利な第4アウトと置き換え、得点を取り消した。